

☆卒業・進級を控えたみなさんへ☆

三月になりました。三月の異名は「弥生(やよい)」です。暖かくなり、いよいよ草木が生い茂るという「いやおい」から「やよい」という言葉になっていきました。もう春はすぐそこに来ています。一、二年生は新たな学年へ。三年生はそれぞれの新たなステージへ進む日も間近です。

ここまでみなさんは学年最後の期末テスト、そして三年生はそれに加えて入試を乗り越えてきました。みなさん、お疲れ様でした。ほっと一段落……と言いたいところではありますが、みなさんの学習はここで終わりではありません。

今回は「**なぜ勉強するのか**」について、少し考えてみたいと思います。



往年の名作、『男はつらいよ』(中学生のみなさんには馴染みがないかもしれませんが)の主人公、『寅さん』は甥である『満男』に「なぜ勉強するのか」を問われます。そのとき、寅さんはこのように答えています。

「つまり、あれだよ。ほら、人間長い間生きてりゃいろんなことにぶつかるだろう、なあ。

そんな時に俺みたいに勉強してない奴は、振ったさいころの出た目で決めるとか、

その時の気分で決めるしかしょうがない。

ところが勉強した奴は、自分の頭できちーんと筋道をたてて、

こういう時はどうしたらいいかなと考えることができるんだ。」

『寅さん』にとって「勉強をする」というのは人生の中で、何か選択を強いられる場面において、解決策を筋道立て考えるための手段である、ということです。**みなさんはどう考えますか？**

今までこの通信では、学習に関するアドバイス等を紹介してきました。さまざまな先生方の言葉は共感できたり、励ましになったりするものでした。しかし、本当に一番大切なことは、「**なぜ学習するのだろうか**」という問いへの答えをみなさん一人一人がもっているかどうか、だと思います。

さて、みなさんには「夢」や「目標」がありますか？なにか一つ、**わくわくする夢**を頭に思い浮かべて見て下さい。そして次に、**その夢と学習することにどんなつながりがあるか**、考えてみましょう。

このように、考えてみてください。



○世界中の美味しいものを食べたいなあ。

→世界に行くためには、英語力が必要。英語の勉強が大切になってくる。それに、外国人と会話になったときに、日本のことを説明できないといけなから、古典や日本史の学習も重要だ。

○趣味のギターを続け、友達とずっとバンドをやっていたいなあ。

→楽器と歌の練習を頑張りたいから、音楽の授業を一生懸命やろう。でも、そもそも趣味を続けるには収入と休日がないといけな。だから会社員になれるように、まずは進学が必要だ。5教科をしっかり勉強しよう。

これを参考に、みなさん自身の**夢と学習することを、つなげてみてください**。そうすると、「なぜ学習するのだろうか」への**自分なりの答え**が見つかります。

今年度「**かんばれたぞ!**」という人は**継続して**、あまり学習のスイッチが入らなかった人は心機一転、来年度も頑張ってください。卒業式前に発行する学力向上通信はこれが最後です。三年生のみなさん、ありがとうございました。

三年生、自分の人生をより豊かにするために、自分自身の目標に少しでも近づけるように、これから先も「**学習し続ける**」人であってください。

少し気が早いですが、**卒業おめでとうございます!**